



こんどう のぼる
近藤 登

- 前橋高志会幹事長
- 富士見地区(3期)
- 総務常任委員
- 議会運営委員
- 魅力あるまちづくりと交通政策調査特別委員

活動報告 (QRコードで議会議中継が観られます)

令和2年 第1回定例会 代表質問項目

- 市長の政治姿勢並びに市政運営について



令和2年5月 臨時議会 質問項目

- 新型コロナウイルス感染症対応関連予算について



令和2年 第2回定例会 総括質問項目

- コロナ禍における財政運営について
- コロナ医療戦士クラウドファンディングについて
- テレワークをきっかけとした移住政策について
- 地方分権改革 提案募集方式について
- 市役所及び教育委員会からの情報発信について
- 地域の諸課題について



かさほら ひさし
笠原 久

- 前橋高志会会員
- 駒形・永明地区(4期)
- 教育福祉常任委員
- 前橋社会福祉協議会評議員



令和2年 第1回定例会 総括質問

- 本市の当初予算について
(1) 市税 (2) 地方交付税 (3) 地方消費税交付金 (4) 市債の今後の見込み
- 窓口ワンストップサービスについて
(1) 実証実験 (2) おくやみ手続き (3) 総合窓口化
- 防災対策について
(1) 総合防災マップ (2) 防災備蓄 (3) 災害時応援協定 (4) 上下水道相互連絡管
- 土地区画整理事業について



令和2年 教育福祉常任委員会 予算審議

- 指導監査運営事業について
- 成年後見制度利用促進事業について
- 保育体制強化事業について
- 母子父子福祉事業について
- 前橋版コミュニティ・スクールについて
- スクールロイヤーの設置について
- 永明公民館の整備事業について



くぼた いずる
窪田 出

- 前橋高志会副幹事長
- 文京天川・六供地区(2期)
- 総務常任委員会(委員長)
- 議会運営委員会(副委員長)

6月議会ではコロナ対策関連として市の財政状況や独自策、今後を見据えたコロナ後の文化の定着などに下記項目について、また今年度より新たに就任された特別職(副市長、教育長、公営企業管理者)へ本市行政や教育に関する考え方について質問させていただきました。

質問項目

1. 新型コロナウイルス感染症に伴う市政状況について

- 財政状況
- 生活保護、生活困窮者支援事業
- 市内経済状況(飲食店支援、宿泊業者支援)

2. 新型コロナウイルス感染症対策関連について

- 特定定額給付金
- 小規模事業者集中支援金
- 複合災害対策 (4) 経営安定資金

3. 特別職について

- 副市長 (2) 教育長 (3) 公営企業管理者



おぞね ひであき
小曾根英明

- 前橋高志会会員
- 桃井・一中地区(3期)
- 都市計画審議会委員
- 市民経済常任委員



「令和2年度 7月臨時議会」質問項目

新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急支援策について質問をしました。

- プレミアム付商品券について
- 乗合バス運行継続支援金について
- タクシー運行継続支援金について
- ニューノーマル創出支援補助金について
- キッチンカー事業者支援補助金について
- 修学旅行キャンセル料等補助金について

市民経済常任委員会 予算審査質問事項

- 新型コロナウイルス拡大に関する中心市街地への対応について
- 歴史文化遺産活用推進事業について
- 南スーダン選手の長期合宿事業について
- 野菜価格安定補助事業について
- 農地法に係る別段面積の設定について
- 農業委員・最適化推進委員の女性参画について



かない きよかず
金井 清一

- 前橋高志会会員
- 桂置地区(4期)
- 建設水道常任委員



新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方に謹んでお悔み申しあげるとともに、感染された方にお見舞い申しあげます。

また、医療福祉の最前線で対峙されている皆さん、さらには安心安全な社会生活を支えていただいている皆さんに心から敬意と感謝を申しあげます。

新型コロナウイルス感染症終息に向けては、特効薬やワクチンなどが開発され市場に展開されるとともに、個人対策の習慣化・集団感染拡大の鈍化など感染症に対する社会的許容度が高まる必要があります。感染症との共存は長くなる見込みです。

「新しい生活様式」への移行が模索されていますが、皆さんとともに頑張りましょう。

最後になりますが、ふるさと前橋の将来を担う子どもたちのために、調査・研究を続けて、提言していきたいと思っております。



とみた たかひと
富田 公隆

- 前橋高志会政審会長
- 城南地区(3期)
- 建設水道常任委員



令和2年 第1回定例会 総括質問項目

- 障害福祉について
- 城南住宅団地排水処理施設管理事業について
- 市税徴収事業について
- 担い手支援事業について
- 重要給水施設管路耐震化事業について
- 通信指令施設管理事業について



建設水道常任委員会 予算審査質問項目

- 準用河川管理事業について
- 富田町地内の道路拡幅工事について
- 道水路補修改良事業について
- 亀泉霊園管理事業について
- 公園樹木や街路の維持管理について
- 有収率向上関連事業について
- 水道施設更新事業について
- 下水道接続促進について



(総括質問)

TO THE FUTURE
WITH HIGH ASPIRATIONS

前橋高志会



廣瀬智央 地球はレモンのように青い
会期 2020年5月22日(金)~7月26日(日)
会場 アーツ前橋 地下ギャラリー

[金井 清一] [近藤 登] [笠原 久] [小曾根 英明] [富田 公隆] [窪田 出]



ごあいさつ

我々『前橋高志会』は、議会は行政のチェック機関であるという理念に基づき、当局が提案する議案に対し、唯々諾々と賛成するのではなく、「良いものは良い、悪いものは悪い」と、はっきりと主張する政策集団でありたいという、高い志を共有する6人の議員で、今年の2月に立ち上げた会派であります。

我々の考え方の基本は、「この政策や施策自体、あるいは、この進め方が、本市にとって、また、市民にとっても、現在、そして将来にわたって、本当に良いことなのか、悪いことなのか」ただそれだけであります。

この考え方に則り、一つ一つの事柄を真摯に議論し、

常に現場の声に耳を傾け、そこで得た情報から導かれる「本市として執るべき方策」を積極的に提言していく。それが『前橋高志会』であり、現下のコロナ禍に当たっても、市長宛に二度、教育長宛に一度、「緊急要望書」を提出し、文書での回答を求め、回答を得ております。

『前橋高志会』は、これからもそういった姿勢で事に臨み、市民生活の向上と住みよい前橋の構築に力を注ぐ所存でありますので、市民の皆さまにご理解を賜りますとともに、市政全般におけるご意見をお寄せいただけたら幸いです。

前橋高志会 幹事長 近藤 登

●新型コロナウイルス関連施策の主な支援実績 (7月1日時点)

事業名	施策名	件数	金額(円)	
商工関係	経営支援事業	前橋市商工関係小規模事業者集中支援金	1,947	97,350,000
	中小企業経営振興資金保証料補助	経営安定資金に係る借入利子及び信用保証料補助	1,320	1,413,861,000
	特別融資預託金	中小企業への融資額増加に伴う預託金の増加	1,320	11,819,671,000
農業関係	花き振興事業	花卉生産者支援金	84	4,200,000
	畜産振興推進事業	酪農・肉用牛生産者支援金	92	4,600,000
子育て関係	ひとり親家庭支援事業	児童扶養手当支給対象者への精米の配布	1,452	5,082,000
学生関係	公立大学法人運営事業	工科大学学生支援金	1,248	37,440,000

新型コロナウイルス関連の 会派要望事項と当局の回答(概要版)

～第1弾 令和2年4月7日提出～

新型コロナウイルス感染症対策の初動を重視して

- 1 市からの情報発信については一元化を図り、新聞報道が先行することの無いよう議会との情報共有を図ること。

回答 新型コロナウイルス感染症に関する情報発信については、適切で分かりやすい情報発信に努め、新聞報道が先行することの無いよう、議会との情報共有を図ってまいります。

- 2 各課横断的な「新型コロナウイルス対策室」を臨時的に設置するとともに、コールセンターも設置すること。

回答 給付金等経済対策については、新設の「にぎわい商業課緊急経済対策室」を中心に対応できるよう検討致します。また、市民からの問い合わせ先が明確化できるよう、市実施業務一覧等を整理し、各部署において対応してまいります。

- 3 県が無症状者・軽症者を収容するために宿泊施設を借り上げる方向であるので、本市としても、市内宿泊施設業者への打診準備を図られたい。

回答 受け入れ施設の確保については、県の健康福祉部が本市を含めた全県エリアで調整中であり、県と連携を図りながら協力してまいります。

～第2弾 令和2年5月11日提出～

コロナ禍での緊急的な 支援体制の確立に向け



- 1 特別定額給付金事業の申請に添付する証明書類のコピー作業が、高齢者にとって難しいと思われるので、本庁・各支所・各市民サービスセンターや公民館においてサポート体制整備を図られたい。

回答 感染拡大防止の観点から、申請方式は「郵送申請」と「オンライン申請」を基本としていますが、本庁舎等の窓口で受理する場合には、記載内容や添付書類の確認について職員がサポートしています。

- 2 国や県から支給される給付金を市民に一刻も早くお届けするために、前橋市が一時的に立替払いをするシステムの構築を図られたい。

回答 5月14日に立替払いを実施しました。ただし、補助金はまもなく概算交付される予定であることから、今後は計画的に実施できる見込みです。

- 3 GIGAスクール構想に則り、各家庭でオンライン授業が実施できるよう、学校のタブレット端末等の貸与を実施していただきたい。

回答 受験を控えた中学校3年生を対象に実証実験として3か月間、ICT環境の無い世帯の生徒にタブレット端末を貸与し、ICTを活用した学習が可能にいたします。

- 4 教員のICT活用を支援すべく、GIGAスクールサポーターを配置していただきたい。

回答 今後、各学校でICT環境の整備がさらに進む中では、必要になると捉えております。

- 5 前橋市が設置者である前橋工科大学においては、授業料の減免を含めた支援策を加えて市内の6つの大学に通う市内在住学生に対する経済的支援策等を図られたい。

回答 前橋工科大学においては、学費の納付期限を4月末から7月末へ延長する他、国の修学支援金制度への申込みを案内しています。市内6大学に通う市内在住学生に対する経済的支援等については、現時点では考えておりません。

- 6 本市としても家賃補助制度を構築されたい。また、国が認定した補助対象者に対する上乗せ支給を図られたい。

回答 県の支援金や本市の制度融資を活用していない個人事業主などの中小零細企業に対して家賃等の固定費にも活用できる一律5万円の支援金支給を検討しています。

- 7 市内経済の停滞を防ぐため、公共工事の発注は予定通りの執行を図られたい。

回答 工事発注につきましては予定通りの執行を図っていくとともに、早期発注を実践したいと考えております。水道事業・下水道事業においても同様であり、着実な発注に努めます。

- 8 コロナ禍で職を失った方たちと、人手不足に悩む農業者とのマッチングを農水省の就農支援事業に則って積極的にシステムの構築を図られたい。

回答 生産者やJA前橋市等の関係機関と連携し、農業分野における人手不足の現状を確認して、国の就農支援事業等の活用を検討していきたいと考えております。

- 9 医療従事者や社会インフラを支える人々に感謝しつつ、日々の業務に忙殺されている保健所職員の更なる負担軽減を図られたい。

回答 新型コロナ感染症対策の実務を担当する保健所につきましては、業務量の増加を踏まえ専門職11人及び事務職3人の人事異動を発令し、体制の充実を図りました。

～第3弾 令和2年6月11日提出～ (教育委員会へ)

コロナ禍での持続的な学校運営に向け

- 1 登校後に発熱があった生徒の隔離スペースにおいては、熱中症の危険もあるのでエアコンの設置を要望します。

回答 待機場所となる各学校の特別教室へのエアコン設置率は3割程度であり、エアコンの無い部屋を使用する場合は、一定の感染防止策を図りながら、教職員が熱中症の危険にも配慮しながら児童生徒を見守ってまいります。

- 2 修学旅行が延期となっている中、実施の可否も含めて検討中と思われるが、修学旅行に対する教育委員会の統一の見解を速やかにまとめ、伝達されるよう要望します。

回答 3密を避け、安全や健康を確保する事を踏まえ、現在、校長会や関係課など多くの関係者の意見を伺いながら、検討しています。実施の可否の判断が遅くなると学校に影響がありますので、6月下旬を目途に判断する予定です。

- 3 修学旅行に関しては、「企画料」や「キャンセル料」の発生も危惧されることから、これらに対して保護者負担が発生しないよう要望します。

回答 修学旅行中止に伴うキャンセル料の支払いについては、修学旅行の実施の可否の判断も含めてどのような支援ができるか検討してまいります。

- 4 教員が妊娠し、新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置に則って休業を申し出た場合、延滞なく代替教員を配置できるシステムの構築を要望します。

回答 妊娠中の教職員については、医師から新型コロナウイルス感染症の恐れに関する心理的なストレスが母体または胎児の健康保持に影響があると指導を受け、それを申し出た場合、特別休暇を取得できます。この場合、補助教職員の配置は、県教委において制度化されておりませんので、いただいた意見を県へ伝えます。

- 5 現状、児童・生徒が下校したあと、教員が消毒作業を行っているが、通常のカリキュラムに戻った場合は、その対応が困難となるので負担軽減策の構築を要望します。

回答 当面の間は職員による作業を継続しながら、より効率的な方法や最新の知見について情報を収集・提供してまいります。児童生徒は発達段階にもよりますが、安全に十分な配慮をしたうえで児童生徒が机やロッカーなど自分の身の回りのものから段階的に消毒作業を行うことも検討しております。

- 6 保護者から学童保育の状況を教員が聞かれることがあるが、情報が無い場合答えられない。学童保育施設と学校との横断的な連携と情報共有システムの構築を要望します。

回答 学童保育の状況把握や小学校の体制づくりの確認を図りながら、対象児童の預かり基準や預かり時間等を定め、保護者に周知してまいります。今後は混乱が生じないように情報共有のシステム構築については、子育て施設課とともに検討してまいります。

- 7 教育委員会から各学校への連絡が総じて遅いと感じる。完全登校や給食の再開についての正確な情報を速やかに伝達されるよう要望します。

回答 休校や再開、給食の有無についての情報提供は、保護者の方々にとっては仕事や家庭での対応に関わることであり、一刻でも早くという思いも承知しております。市としても最新の感染状況に基づき判断し、正確な情報提供を行うために一定の時間が必要ですが、できるだけ迅速な情報発信に努めてまいります。

- 8 給食の再開については、15日の実施は伝わっているが、その後の正確な情報が伝わっておらず、保護者のみならず給食を提供する業者も困惑するので、長期的な情報も提供できるよう要望します。

回答 保護者の方や食材納入業者への情報提供につきましては、給食実施日程が決定次第、速やかに情報提供を行うよう努めてまいりました。今後も、できるだけ迅速な情報発信に努めます。

- 9 運動会・校内記録会の開催については、その可否も含めて速やかに伝達されるよう要望します。

回答 新型コロナウイルス感染拡大防止を図りながらの実施の可否について、小・中学校長会と慎重に協議を進めてまいりました。小学校においては、楽器演奏や表現運動などの練習時間の確保が困難であり、かつ保護者の参観場所や飲食場所、トイレ等の感染防止対策を徹底することが困難と考え、本年度は中止といたしました。中学校においては、陸上競技種目が中心であり、屋外であるので密集や密接が避けられ、かつ体育の授業で練習時間も確保できることから短縮したプログラムでの実施を各学校で検討しております。

- 10 部活動については中体連の大会が中止となっているが、市独自の大会を求める声は多いので、是非とも市独自の大会を開催されるよう要望します。

回答 今月19日の市中体連理事会において、市総合体育大会中止の代替えとして交流会の実施が決定しました。特に3年生が活躍する場となるよう配慮しています。運営については、感染症や熱中症予防対策を徹底し、無理のない範囲内での実施を検討しております。

前橋市立小・中・特別支援学校生徒への オンライン授業の早期実施要望書

～令和2年5月11日提出～

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発出を受け、政府は4月7日、臨時閣議を開き、緊急経済対策を決定した。事業規模は過去最大規模の総額108兆円となり、これはGDP(国内総生産)の20%にあたる。対策にかかる経費を盛り込んだ2020年度補正予算案も閣議決定され、大型連休までの成立を目指すとした。

文科省関連予算は2,763億円が計上され、このうちGIGAスクール構想の関連予算が2,292億円と8割超を占めた。

臨時休校が長引く状況を踏まえ、2023年度を目標としていた児童生徒1人1台のPC端末整備については、今年度内の完了を目指すとしている。端末を家庭学習にも活用できるよう、モバイルルーターの無償貸与や教員用のカメラやマイクも整備し、遠隔教育が可能なICT環境の整備を一気に加速させる方針を示し、GIGAスクール構想の加速による学びの保障として、令和5年度までの児童生徒「1人1台端末」の整備スケジュールを示した。

また、学校現場へのICT技術者の配置の支援、在宅オンライン学習に必要な通信環境の整備等の施策も盛り込んでいる。

本市においても、緊急時における子ども達の学びを保障できる環境と休校期間中の家庭等での新たな学習支援策を検討すべく、児童・生徒が各家庭において使用できるインターネット接続環境や端末の有無に関する調査を実施しており、約3,000世帯が利用できる端末が無いと回答している。

そんな中で、本市では各学校に41台ずつタブレット端末が配布されており、合計では約3,000台のタブレット端末を保有していることになり、それらを有効に活用することが対策の一つではないかと考える。

文科省では、家庭に端末のある子どもにはそれを使ってもらい、端末が家庭にない子どもには、学校にある端末を持ち帰ってもらうことも検討中のようにあり、家庭にあるパソコンやタブレットを子どもの授業で使えるかどうか、ということを確認していただいた上で、それを使うようであればそのご家庭はそれを使わせていただく、BYOD(Bring Your Own Device=個人所有の端末を学校で使う)を可能な限り活用することで、端末をいま必要としている家庭に優先的に割り当てる方針である。

加えて、学校にあるパソコンなりタブレットを持ち帰ってもWi-Fi環境が整っていない場合には、モバイルルーターを貸与するとしている。

よって、子ども達の学びの形に差が生じないよう、市内の小・中・特別支援学校における児童・生徒へのオンライン授業の早期試行為の為に、下記項目の対応を要望いたします。

記

- (1) 各家庭でオンライン授業が実施できるよう学校のタブレット端末等の貸与を実施していただきたい。
- (2) インターネット環境未整備の家庭への整備促進とモバイルルーター(携帯電話回線を利用できる無線通信機器、経済的な支援が必要な児童生徒向け)の貸与を行っていただきたい。
- (3) 教員が、学校だけでなく在宅勤務時でも自宅から授業を配信できるようモバイルルーター等を教員の自宅へも整備していただきたい。
- (4) 教員のICT活用を支援するGIGAスクールサポーターを配置していただきたい。
- (5) 上記のステップにより、オンライン授業を速やかに実現していただきたい。



表紙の写真ではマスクを外していますが入館時、ギャラリー内ではマスク等で飛沫感染対策を取っています。